

Q1.食器の消毒の際、MRSA保菌者が使用した食器と分けているが必要か？

Q2.MRSAが咽頭から検出されている利用者に対し、特別に行う対策はあるのか？

Q3.ESBLって何なのか？対策は？

Q4.尿からESBLが検出されている患者を、現在、個室対応しているが、個室での感染対策は必要か？

Q1. 食器の消毒の際、MRSA保菌者が使用した食器と分けているが必要か？

A1.分別せずに、一緒に消毒して構いません。大事なことは、洗浄後に消毒することです。また、栄養課（厨房）などに返却されて食器が洗浄されるのであれば、80℃熱水による消毒が行われているはずなので、現場での一次洗浄や消毒は不要です。施設の栄養課や厨房に確認してください。

Q2.MRSAが咽頭から検出されている利用者に対し、特別に行う対策はあるのか？

A2.この利用者の場合は保菌だと思われます。MRSAが咽頭から検出されているから感染対策を実施するのではなく、だれの喀痰でも感染の可能性があるため、咳がある場合は誰でもマスクを着用してもらおう…という、標準予防策に基づいた考え方で対応してください。

Q3.ESBLって何なのか？対策は？

A3.耐性菌で、基質特異性拡張型βラクタマーゼ産生菌といって、主にβラクタム系抗菌薬（ペニシリン系、セフェム系）に耐性を持った菌のことです。大腸菌、肺炎桿菌などの細菌が主で、抗菌薬が効きにくくなった耐性菌です。

対策としては、接触感染対策を実施することです。手指衛生の遵守と手がよく触れる環境部位を消毒することも必要です。

近年、保菌者が増加傾向です。

Q4.尿からESBLが検出されている患者を、現在、個室対応しているが、個室での感染対策は必要か？

A4.接触感染対策を実施するため、原則論からすると個室隔離が望ましいと思われます。

しかし、MRSA検出患者をすべて個室隔離していない（できない）現状から、個室対応しないことが多いと思われます。個室対応するかどうかは、最終的には施設の判断になります。個室隔離する場合は、解除基準をしっかりと決めておく必要があります。

ESBL産生菌は、大腸菌や肺炎桿菌などの菌に、抗菌薬を分解する酵素がくっついているものです。菌の特性上、隣の別の患者に酵素（情報）だけがうつっていきます。個室隔離せずとも、環境清掃の強化などの対策は必要になります。